

木材利用の活動報告

「地域材の利用」  
～釧路市産カラマツを使用した牛舎の完成～

釧路総合振興局 森林室音別事務所 大槻 亨

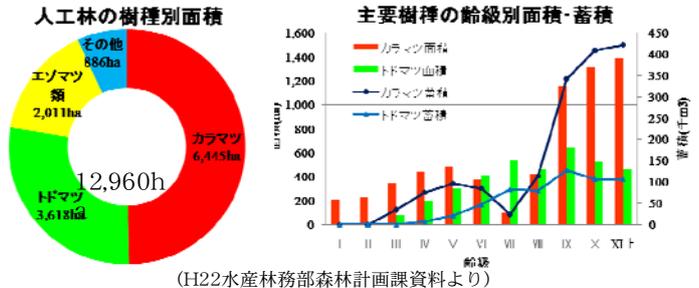
背景・目的

釧路市の一般民有林では、人工林約13千haの8割がカラマツとトドマツで構成されています。

特にカラマツにおいては、7割が主伐期を迎えた8齢級以上で、その豊富な森林資源の有効利用が望まれる一方、若齢級の森林資源が減少傾向にあります。

釧路市の森林資源の循環利用に向けて、地域関係者と連携を図りながら地域材利用拡大の取組を進めていく必要があります。

釧路市の一般民有林の森林資源



(H22水産林務部森林計画課資料より)

取組の内容と成果

「釧路森林資源活用円卓会議」設置(平成22年11月)

◎目的：釧路市有林をはじめとする豊富な森林資源の活用策を地域の幅広い関係者で検討し、推進していく。

◎オブザーバー：

- 根釧西部森林管理署
- 釧路総合振興局
- くしろ地域支援室
- 林務課
- 森林室普及課
- 森林室音別事務所

◎構成員：釧路市、森林組合、素材生産業者、製材業者、設計事務所、建設業者、研究機関、農業協同組合等【地域内の結びつきを強化し循環を推進】

- ◎川上会：地域特性に応じた施業等の検討
- ◎川下会：木材利用拡大、商品開発の検討
- ◎H22～23年度の主な取組
  - ・合同会議(4回)
  - ・川上会会議、川下会会議(各1回)
  - ・川上会・森林整備現地検討会(1回)
  - ・釧路市有林カラマツ強度試験(1回)
  - ・川下会・カラマツ材利用施設見学会(2回)
  - ・地域材活用に向けた人材育成研修会(4回)
  - ・イベントでの市民への木材利用PR(1回)



森林整備現地検討会



市有林カラマツ強度試験



カラマツ材利用施設見学会



市民への木材利用PR

■普及指導活動

「1万人林家フェイルづくり活動」等を通じた森林所有者への地域材利用推進

森林所有者・地域住民等への地域材利用に対する理解・意識の広がり

取組の情報

「100%釧路市産カラマツを使用した牛舎」の完成

- ・所在地：釧路市音別町尺別
- ・主体構造：木造(一部鉄骨柱)
- ・木材使用量：101m<sup>3</sup>
- ・延床面積：1,112m<sup>2</sup>
- ・総工費：5,500万円(建物、基礎、電気、給水施設等含む)
- ・完成年月：平成23年11月

「地元のカラマツを使ったかった」  
施主のこだわり



◎木材加工・設計・施工業者は円卓会議構成員

他町村から  
◎取組への問い合わせ  
◎参画への希望…など

釧路管内へ波及

今後の課題と展開

- ◎釧路管内全域への波及に繋げることが必要
- ・用途に応じた素材の安定供給の確立
- ・基幹産業における地域材利用の加速化
- ・更に地域関係者との情報共有、連携強化

展開

- ・地域の関係者のネットワークの構築
- ・住宅、農業施設、公共施設等の見学会等の地域材利用PR
- ・「釧路市地域材利用推進方針(H23年10月策定)」に基づく地域材利用の推進

「地材地消」による森林資源の循環利用の定着